

USER REPORT

島津印刷株式会社

導入機種：RYOBI 928P（LED-UV印刷システム搭載） 2013年2月ご導入



代表取締役社長 島津 延明 氏

一気通貫の生産体制を確立し、顧客の短納期ニーズに応える

LED-UV搭載のRYOBI 928Pで 印刷から後加工への停滞時間を解消し、 全体最適化を実現

早くからLED-UVによる即乾印刷の運用を進めてきた「島津印刷株式会社」。LED-UV機の次なるステップとしてA全判両面8色印刷機RYOBI 928Pを導入。

時代ニーズを的確に捉え、 常に高い競争力を発揮

島津印刷株式会社は美術印刷、書籍印刷、帳票印刷など幅広い事業内容を展開する、従業員約120名を有する総合印刷会社である。創業は1949年で、常に時代ニーズを的確に捉えた投資で競争力を発揮し、順調に業容を拡大している。

同社は高度成長時代で印刷需要が増える中、1980年に新潟市にあった工場を新発田市に移転、菊全判のカラー印刷機を複数台導入し、チラシ印刷の受注拡大に対応してきた。さらに1987年には第2工場を増築するとともに、B3サイズ輪転機、B2サイズ輪転機を立て続けに増設することで、チラシ印刷への対応を特化した設備を増強してきた。同社では近年、チラシ印刷の減少や低価格が進む中で、多品種・小ロットの印刷物に対応した生産体制の拡充を積極的に進めてきた。「2009年に第2工場に隣接した印刷工場として第3工場を設立しました。枚葉オフセット印刷機としてはB1サ

イズの8色両面印刷機を始めとして、LED-UV搭載のA全判8色両面印刷機RYOBI 928Pとダイレクトイメージング装置内蔵のA3判4色印刷機RYOBI 3404X-DI（LED-UV搭載）、菊半載の表面1色／裏面1色の両面印刷機の合計4台が稼動しています。ページ物印刷から、ポスター印刷、封筒印刷などの小ロットカラー印刷まで多種・多様な印刷物を24時間体制でスピーディに提供し、お客様のニーズに応じています」（島津社長）

一気通貫の生産方式を目指し、 LED-UV搭載の928Pを導入

同社では2009年に新工場を増設する際、印刷から後加工、梱包、出荷までロスタイムなく、連続して作業が行える「一気通貫の生産方式」をテーマに掲げ、生産工程の改善を進めてきた。印刷から後加工までのワンフロア化を実施し、ひと目で仕事の流れがわかるしくみを構築する中でボトルネックとなってきたのが「印刷物の乾燥待ち」によるロスタイムの発生だった。「当社の油性のB1サイズ両面8色印刷機で他社に比較しても乾燥時間は短いと思う。しかし、マット紙など、どうしても乾きの悪い紙があります。本当の意味で一気通貫の生産を行うためには、乾燥の問題をクリアする必



LED-UV印刷システム搭載のRYOBI 928P

「本当の意味で一気通貫の生産を行うためには、乾燥の問題をクリアする必要がありました。」

要がありました」と木川工場長。この問題を解消するために、着目したのがリョービのLED-UV印刷システムだった。

「短納期のニーズに対応するためにはUV化が必須でしたが、消費電力の大きさが導入のネックになっていました。ちょうどその頃、リョービからLED-UV印刷システムが発表されました。消費電力が非常に小さい、オゾン臭の発生が無いなどのメリットは、導入検討の大きなポイントになりました」(木川工場長)

「当社ではLED-UVに早くから注目し、A3判の4色印刷機 RYOBI 3404X-DIと RYOBI 3304HにLED-UV乾燥装置を後付けし、封筒印刷など小ロットのカラー印刷の分野で確かな実績を残してきました。そういった経緯から、RYOBI 928PのLED-UV機が有力な導入機種候補になり、LED-UV機では一番の実績があったリョービに決めました。また、当社の仕事の多くはA全機で対応できるため、928Pのコストパフォーマンスの高さも導入の大きなポイントになりました」と島津社長は採用の経緯を振り返る。



取締役 工場長 木川 博司 氏

LED-UV機でさらなる短納期化を実現

同社ではLED-UV搭載の RYOBI 928Pを2013年2月に導入しており、すぐに本格稼働を始め年度末の繁忙期においてフル回転で稼働している。現在、絵柄によって異なるが、毎時11,000枚～12,000枚の印刷速度でユポなど乾きにくい用紙でも、傷やコスレ、裏付きなどなく印刷している。「当社では928Pを入れる前から、後工程の設備を充実してきました。一気通貫の生産方式を進めるために、後工程のシステムの能力が鍵となると思ったからです。LED-UV搭載の928Pの導入で両面印刷後、直ちに後加工に移行できますから、こうした後工程システムの先行投資のメリットが最大限にいかされています」(島津社長)。さらに油性印刷機とのカラーマッチングも実施しており、リピートの仕事でも色の差がない安定した品質が得られているという。

今後のLED-UV搭載の928Pの展開

同社はこれまで主力であった油性の8色両面印刷機の代わりにLED-UV搭載の928Pを主力機種として、活用していく予定だ。後加工システムと連携した一気通貫の生産方式のメリットでより短納期の仕事に対応していく。「朝データを受けて夕方には発送する。これまでできなかったこういう納期の短い仕事を狙って、新しい市場を開拓していきます。また、紙による即乾だけでなく将来的には特殊原反の分野にも活用範囲を広げていきます」とLED-UV搭載の928Pの将来展開について島津社長は語っている。



LED-UV搭載で水無し印刷方式の RYOBI 3404X-DI

島津印刷 株式会社

住所 本社:新潟県新潟市富塚1419
代表 代表取締役社長 島津 延明
創業 1949年
TEL 0254-27-2101

<http://www.shimazu-pnet.co.jp/>



※記事内容は、2013年7月取材時の情報を基に作成しています。

リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社

本社	〒726-0002	広島県府中市鶴飼町800-2	0847-40-1600
営業本部	〒114-0003	東京都北区豊島5-2-8	03-3927-3300
東日本支社	〒114-0003	東京都北区豊島5-2-8	03-3927-1031
札幌支店	〒062-0937	北海道札幌市豊平区平岸七条14-3-48	011-831-2501
仙台支店	〒983-0034	宮城県仙台市宮城野区扇町4-2-38	022-237-6210
新潟営業所	〒950-0993	新潟県新潟市中央区上所中1-2-12	025-384-0275
中日本支社	〒468-0034	愛知県名古屋市中白区久方1-145-1	052-807-1671
西日本支社	〒569-1135	大阪府高槻市今城町24-12	072-686-1171
高松営業所	〒761-8057	香川県高松市田村町1095-1	087-866-1051
広島営業所	〒736-0082	広島県広島市安芸区船越南3-7-29	082-823-0068
福岡支店	〒811-2305	福岡県糟屋郡粕屋町袖須107-1	092-623-5005

<http://www.ryobi-group.co.jp/graphic/>

■代理店